



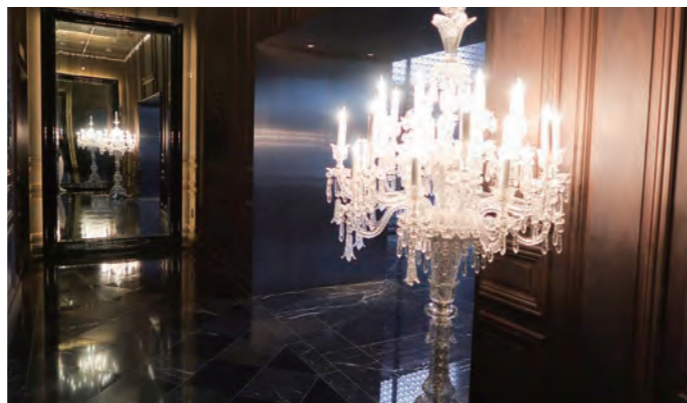
プチサロン「The Petit salon」に燦然と輝くバカラ製のゴージャスなシャンデリア群。バカラホテルは創業 250 年を超えるクリスタルブランド “Baccarat” がプロデュースし、2015 年 3 月ニューヨークに世界で初めて「Baccarat Hotel & Residences New York」としてオープンさせた



ホテルの中心的役割を担うグランドサロン「The Grand Salon」。バカラ社はルイ 15 世の認可を受けて、1764 年にフランス東部のロレーヌ地方のパカラ村に生まれた。そのクリスタル工房は早くからその高品質が認められ、1909 年に日本の皇室からもオーダーを受けたという記録がある



ミッドタウンのニューヨーク近代美術館 “MoMA” の斜め前に立地し、エントランスの前には黒服のドアマンが常駐し、まさにニューヨークの旬なブティックホテルと言える



黒服のドアマンに重厚な扉を開けてもらうと、薄暗いエレベーターホールに煌びやかなバカラのクリスタルが現れる



筆者 **小原 康裕**
ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74 年 Munich Re 入社。85 年築地原健代表取締役。2001 年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。私のファーストアルバム「World's Leading Hotels」はお陰様で好評を頂いておりますが、写真集第 2 弾「World's Prestige Hotels 世界の名門ホテル」を去年 6 月に発刊いたしました。独自に取材した世界各地の最高峰ホテルを華麗な写真と共に解説しております。ファーストアルバムに引き続きご愛読して頂ければ幸甚に存じます。



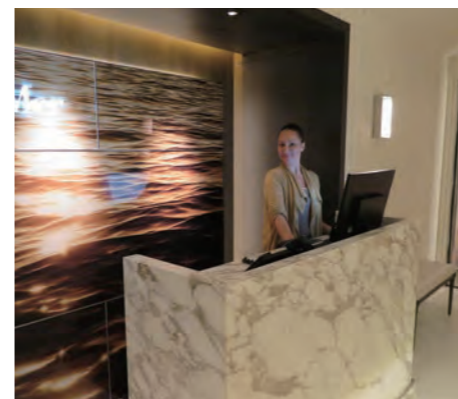
スタイリッシュなコンシェルジュデスク。背後にプチサロン「The Petit salon」が見える



エレベータを降りて目の前の位置するプチサロン。輝く光の饗宴に思わずゲストは立ち止まる



グランドサロンからプチサロンを望む。全客室、パブリックスペースにバカラ製クリスタルを提供している



スパ施設「Spa de la Mer」のレセプションデスク。有名なスキンケアブランド、ドゥ・ラ・メールと提携



プールサイドには、コートダジュールをイメージしたカバナが並んでいる

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Baccarat Hotel & Residences New York

バカラホテルは創業 250 年を超えるクリスタルブランド “Baccarat” がプロデュースし、2015 年 3 月ニューヨークに世界で初めて「Baccarat Hotel & Residences New York」としてオープンさせた。全室にバカラ製クリスタルを提供し複雑な建築構造とデザインが特徴で、現在ニューヨーカーの間で大きな話題となっている。ミッドタウンのニュー



かまぼこ型の天井から4基のゴージャスなシャンデリアが吊り下げられたメインバー「The Bar」。アメリカとヨーロッパの雰囲気、過去と現在を融合した眩いばかりの空間が出現する



グランドサロン「The Grand Salon」のディナー風景



ホテルの中心となるサロンで、ブレックファストやアフタヌーンティーもここで楽しめる



長さ18メートルのバーカウンター側から見た「The Bar」。どこかパリのピストロの雰囲気が漂う



バカラのバーは、さらにニューヨーク近代美術館「MoMA」を望む屋外テラスを備えている



スタイリッシュな「Prestige Suite」のリビングルーム。淡いホワイトの色調で統一され、約80㎡の広さを持つスイートである



ベッドルームは四隅がダークブラウンの木製角柱で囲まれたキングベッドが印象的だ



リビングルームにはバカラのロゴが入った真っ赤なボックスが置かれている



ミニバーが入るキャビネットにはバカラの各種クリスタルガラスが用意されている



正面エントランスに掲げられお馴染みのバカラ社ロゴマーク「Baccarat」

ヨーク近代美術館「MoMA」の斜め前にあり、ひと際トレンドリーな建物が目印だ。ホテルエントランスの前には黒服のドアマンが常駐し、まさにニューヨークの旬なブティックホテルと言える。

クリスタルガラスでその名を知られるバカラ。ルイ15世の認可を受けて、1764年にフランス東部のロレーヌ地方のバカラ村に生まれた。そのクリスタル工房は早くから高品質が認められ、1909年に日本の皇室からもオーダーを受けたという記録がある。バカラホテルの正面エントランスとは別に、左側にレジデンス用のエントランスも設けている。黒服のドアマンに重厚な扉を開けてもらうと、薄暗いエレベーターホールに煌びやかなバカラのクリスタルが現れる。エレベーターを2階で降りると、左がホテルのフロントデスクとプチサロン「The Petit salon」、中央にグランドサロン「The Grand Salon」があり、その奥にザ・バー「The Bar」を配置している。どのサロンも華麗なバカラ製のシャンデリアが厳然と輝き、フロアには多種多様なバカラ社製のコレクションが飾られている。

バカラホテルはスイートを含め全114室とレジデンス61邸を擁し、正面ファサードはクリスタルを象徴するような美しい姿で輝いている。今回はスタイリッシュな「Prestige Suite」を紹介したい。ベッドルームは四隅が木製の角柱で囲まれたキングベッドが印象的で、リビングにはバカラのロゴが入った真っ赤なボックス。キャビネットにはバカラの各種クリスタルガラスが用意されている。「The Bar」にはテラス席が設けてあり、夏の時期はお勧めだ。スパ施設「Spa de la Mer」のプールサイドには、コートダジュールをイメージしたカバナが並んでいる。

スーパーブランドのバカラホテルだが、実はオープン前から世界の富豪投資家たちの間で争奪戦が起こっていた。そして実際、開業前の2月に中国の保険会社「陽光保険集団」に売却されている。またバカラ本体についても、中国の投資会社FFCフォーチュン・ファウンテン・キャピタルが、バカラの支配権を持つ米投資会社スターウッド・キャピタル・グループなどからバカラ株式を取得して経営権を握ったという。